

中全

題材名 持続可能な住生活

配当時間 1 時間

題材の目標

- (1) 自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解するとともに、それらに係る技能を身に付けることができる。
- (2) 持続可能な住生活を目指して、課題とその解決方法について考え、工夫できる。
- (3) よりよい住生活を目指して、住居の機能と安全な住まい方について、工夫し創造し、実践しようとする。

標準的な展開例

| 学 習 活 動   | 留 意 事 項 な ど   |
|---|---|
| 1 持続可能な住生活を目指して、自分の考えをまとめる。<br>★家族が暮らしやすい住まいを工夫しよう。<br>○自分の住まいや家の周囲の様子について気になる点を発表する。<br>・整理整頓・汚れ・日差しの強さ<br>○中学生ができる解決方法を考える。<br>○家族が心地よく住むために、家庭実践の計画を立てる。 | ・具体例を挙げて、持続可能に住もうためにできることを考えさせる。<br>・環境に配慮した住まい方を発表させる。<br><br>・計画を基に実践した内容について、実践報告書に結果や考察を書かせ、教室掲示の形で発表させるなど工夫し、報告させる。<br>・長期休業などを利用して、実践を継続させてもよい。<br>【評】よりよい住生活を目指して、住居の機能と安全な住まい方について考える活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 |

【 備 考 】